

きりゅう 桐生つねあき

鈴鹿市議会議員

鈴鹿市議会レポート Volume 8

所属 このはな保育園 施設長 / 一般社団法人鈴鹿青年会議所 / 鈴鹿商工会議所青年部

経歴 平成4年生まれ

平成16年3月 鈴鹿市立旭が丘小学校卒業

平成22年3月 鈴鹿中学高等学校卒業

平成28年3月 明治大学政治経済学部卒業

平成28年4月 衆議院議員島田佳和事務所 入所

平成31年4月 鈴鹿市議会議員選挙 初当選

令和3年5月 鈴鹿市監査委員 就任

令和5年4月 鈴鹿市議会議員選挙 2期目当選

令和5年5月 鈴鹿亀山地区広域連合議会 議長 就任

令和6年5月 鈴鹿市議会第81代副議長 就任

鈴鹿亀山地区広域連合検証特別委員会 委員長 就任



平成生まれの
挑戦!!

市政報告会&意見交換会

市内各地で開催しております!

令和7年9月より市内各地で市政報告会・意見交換会を継続して開催しています。私の市政にかける想いをお伝えするとともに、地域の皆さまから日々の暮らしの中で感じているお困りごとやご要望をお聞きしています。

開催にあたっては、案内を配布するだけでなく、できる限り一軒一軒お伺いし、直接案内をお渡ししております。突然の訪問にも関わらず、温かくご対応くださるみなさまに、感謝申し上げます。また、自分の足で実際に地域を歩くことで、地域の実情を肌で感じ、多くの気づきを得ています。

画一的な政策ではなく、それぞれの地域に合った政策を考えていくために、引き続き市内各所を歩いてまいりますので、みなさまのご意見をお聞かせいただければ嬉しいです。

① 意見交換会でいただいた内容 (一部抜粋)

防災について

避難できる場所が遠く不安
空き家の倒壊などが不安
避難経路確保を求めたい

交通について

ライドシェアなどの活用で
移動手段確保を求める
交通渋滞の緩和に向けた対策

その他

公共施設の老朽化対策
鈴鹿の伝統産業を世界に
向けてPRして欲しい

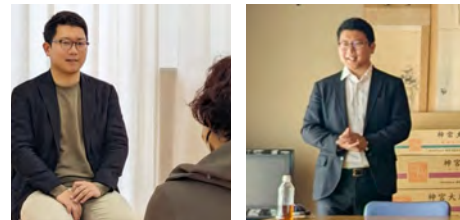
これらの声を踏まえ、今後の議会活動や政策提案につなげてまいります。

● 市政報告会・意見交換会 開催スケジュール

令和7年	9月 20日	渚会館	11月 8日	旭が丘公民館
		築地会館	15日	小川神社
	27日	稲生公民館	23日	白子公民館
10月	3日	寺家会館	30日	磯山公民館
	11日	御園ふれあい会館	12月 13日	鼓ヶ浦公民館
		徳田ふれあい会館		甲斐町公会堂
	18日	江島若宮八幡神社	20日	稲生公民館
	25日	合川公民館	27日	栄公民館

令和8年	2月 22日	江島台会館
	3月 1日	寺家会館
	8日	郡山公民館
	22日	京田集会所
4月	11日	久間田公民館
	18日	井田川公民館
	25日	椿公民館
5月	2日	深伊沢公民館
	16日	鈴峰公民館

※発行日以降のスケジュールについては予定となっており、変更の可能性がございます。
また、開催スケジュールに関して、会場の変更などが生じる場合があります。





〇 もっと便利な鈴鹿市へ 【自治体DXの推進について】

桐生 Q DXは「効率化」「若者向け」だけの政策ではない。効率化によって生まれた時間や人材を、人にしかできない業務へ振り向けるべき。具体的には、以下の内容などを求めた。

- 行政手続きのさらなるオンライン化
- 書かないワンストップ窓口
- 庁内の無線LAN整備

行政 A 自治体DX推進ロードマップを策定し、全庁的に取り組みを推進してきた。

- 今後マイナンバーカード認証やオンライン決済なども導入予定。
- 書かないワンストップ窓口については県の事業なども活用し調査を行う。
- 無線LANについて、必要性は認識しているが、整備時期は未定。

【議会後の進捗具合】

(前進) 令和8年度当初予算にて「書かない窓口」の実現に向けた、準備費用が拡充。「戸籍住民基本台帳管理業務費」のうち543万2000円。

(実現) 令和8年度当初予算にて、本庁舎に無線LAN環境が整備。「庁内LAN運用費」のうち2067万8,000円(令和8年度分)。



今後について 窓口業務の改革は少しずつ動き始めています。重要なのは、市民の皆様が「便利になった」と実感できる成果を出すことです。引き続きこれらの取り組みの着実な実行を求めています。また、庁内の通信環境の改善については、業務効率化にとどめず、「人にしかできない業務」の充実につなげるよう求めています。

〇 持続可能な鈴鹿市へ 【公共施設マネジメントについて】

桐生 Q 鈴鹿市は令和33年度までに公共施設の延床面積を、18%縮減する目標を掲げている。しかし、以下の現状がある。

- 過去約10年での保有量縮減は1%未満
 - 築40年以上の公共施設が約4割
 - 今後10年で約7割の公共施設に老朽化対策が必要
- 部位改修による公共施設の延命だけでなく、市全体の将来像を見据えた再編を進めるべき。

行政 A ● 保有量の縮減割合は1%未満となっている。 ● 人口減少の推計によっては、計画より更なる保有量の縮減が必要になる可能性がある。 ● 将来的な行政サービスの在り方を踏まえて保有量の適正化につなげていく。

【議会後の進捗具合】

(体制整備) 令和8年度より「技術管理部」を新設。公共施設政策課を「公共施設マネジメント課」へ変更し、技術管理部に移管。



今後について 鈴鹿市全体での公共施設マネジメントの在り方を再構築することは、喫緊の課題です。今回の組織再編を通して技術的視点から全庁的な議論を進めていくとともに、将来の行政サービスの在り方を踏まえた施設再編を進めていくように求めています。今後も、将来世代に負担を残さない公共施設マネジメントの実現に取り組んでまいります。

活動内容について



産業建設委員会の視察で鈴鹿市伝統産業会館へ



地元地域の自治会総会にてご挨拶



市内各所でポスターを貼っています



白子地区議員懇談会にて地元自治会長の皆さんと意見交換



地域の敬老会にてご挨拶



地域の行事にて餅つきのお手伝い